

株式会社ウェッブアイ



2017年9月

目次

はじめに	1
1. 動作環境	2
2. 主な追加/改善機能	3
2.1 対応 OS の追加	3
(1) Windows Server に対応	3
2.2 計画	3
(1) 供給資源量の初期値設定	3
(2) 資源別ビューの行順序の保持	3
2.3 マルチプロジェクト	4
(1) マイルストーンのマージ条件の設定	4
(2) マルチプロジェクトを構成するプロジェクトの削除	4
2.4 工数	4
(1) 1 日の工数上限の設定	4
(2)「進捗・工数入力」画面の並べ替え	5
(3)「工数入力」画面の日付の背景色	6
2.5 レポート	6
(1) 月別工数マトリクスレポートの日付範囲指定	
(2) エクセルファイルの出力形式変更	6
2.6 プロジェクト資源	6
(1) プロジェクト資源 CSV の出力	6
(2) プロジェクト資源の一括登録	6
2.7 Pアイテム	7
(1) P アイテムの一括登録	7
2.8 表示セット	8
(1) プロジェクト表示セットの階層表示	8
(2) 資源表示セットの項目追加	8
2.9 その他の改善	8
(1) パフォーマンス改善	8
(2) 既存プログラムからのコピー	8
(3) プログラム集計のボタン名変更	8
2.10. 不且今改修	Q

はじめに

PREGARE 新バージョン「PEGARE11」の追加/改善機能について、ご紹介します。

※本ドキュメントの内容は、予告なしに変更される場合がありますので予めご了承ください。

1. 動作環境

PREGARE11 の動作環境は、以下の通りです。

<サーバー>

OS

Red Hat Enterprise Linux 6 または 7 Windows Server 2012 R2 Standard Edition

■ サーバー

上記 OS が動作するサーバー

メモリ:

Red Hat 版 4GB 以上

Windows Server 版 8GB 以上

■ ソフトウェア

- * Java Runtime Environment
- * PostgreSQL Server
- * Apache HTTP Server
- ※ Red Hat 版は、OS に付属する上記パッケージを使用します。

■ その他

PREGARE のメール送信機能を利用する場合は、PREGARE から利用可能なメールサーバー ※ Red Hat 版は、OS に付属するメールサーバーパッケージのインストールが必要です。

<クライアント>

□ Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11 以上

□ その他

.NET Framework 4 以降

<Planow、工程's との連携について>

PREGARE11 は、Planow5.2、工程's8 と連携してご利用いただけます。

2. 主な追加/改善機能

PREGARE 11 (P10)では、PREGARE10 (O10)以降、下記の変更を行っています。

2.1 対応 OS の追加

(1) Windows Server に対応

本バージョンより、Windows Server に対応しました。

対象バージョン: Windows Server 2012 R2 Standard Edition

2.2 計画

(1) 供給資源量の初期値設定

初期計画作成時、および、資源やプロジェクト資源の追加時に、供給資源量の初期値が設定できるようになりました。「システム設定」の「レポートおよび計画設定」にて、「供給資源の初期値」として「テンプレートの設定を使用する」または「資源の初期供給量を使用する」が選択できるようになり、「資源の初期供給量を使用する」を選択した場合、「資源」タブに追加された「初期資源量」の値を設定することができます。



供給資源量の初期値が設定されるタイミングは以下の通りです。

- 「計画」タブにて、「テンプレートから作成」により、最初の計画を作成するとき
- プロジェクト資源を追加し、最新計画をチェックアウトしたとき※「システム設定」の「機能切り替え設定」で「プロジェクト資源」の設定が「使用する」の場合
- 「資源」タブにて、新しい資源を追加し、最新計画をチェックアウトしたとき※「システム設定」の「機能切り替え設定」で「プロジェクト資源」の設定が「使用しない」の場合
- ※ マルチプロジェクトの場合、供給資源量の初期値にはテンプレートの設定が使用されます。

(2) 資源別ビューの行順序の保持

「計画」タブにて、「最新計画と計画の履歴」から計画をチェックアウト、または、ダウンロードする場合、前回アップロード時の資源別ビューの行の順序を保持できるようになりました。

※「システム設定」の「レポートおよび計画設定」で「計画の資源の並べ替え」を「資源コード順に並べ替える」に設定している場合、資源別ビューの行の順序は保持されません。

※ マルチプロジェクトのダウンロードは対象外となります。

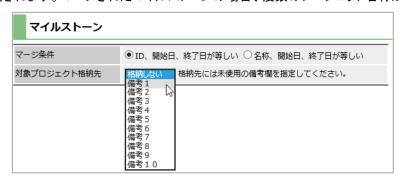
2.3 マルチプロジェクト

(1) マイルストーンのマージ条件の設定

マルチプロジェクト計画の作成時に、マイルストーンのマージ条件を選択できるようになりました。

マージ条件は、「ID、開始日、終了日が等しい」または「名称、開始日、終了日が等しい」のどちらかを選択します。 これにより、ID が未設定のマイルストーンが存在してもマルチプロジェクトが作成できるようになりました。

また、「対象プロジェクト格納先」を指定すると、作成されたマルチプロジェクトのマイルストーンの備考に元のプロジェクト名称が設定されます。マージされたマイルストーンの場合、複数のプロジェクト名称が設定されます。



※ マルチプロジェクトの分解時、「対象プロジェクト格納先」に設定された内容が元のプロジェクトのマイルストーンの備考に反映されます。そのため、「対象プロジェクト格納先」には未使用の備考を指定するようにしてください。

(2) マルチプロジェクトを構成するプロジェクトの削除

マルチプロジェクトを構成するプロジェクトの削除時に表示されるエラーメッセージに、該当のマルチプロジェクト名称および、対処方法を追加しました。



※ マルチプロジェクトを構成するプロジェクトを削除するには、「マルチプロジェクト編集」にて構成プロジェクトから 除外し、「マルチプロジェクトの履歴」で状態が「作成」となっているものを削除する必要があります。

2.4 工数

(1)1日の工数上限の設定

「工数入力」画面にて、1日に入力可能な上限時間を設定できるようになりました。

「システム設定」の「機能切り替え設定」の「1日の工数上限チェック(時間)」に上限時間を設定することができます。

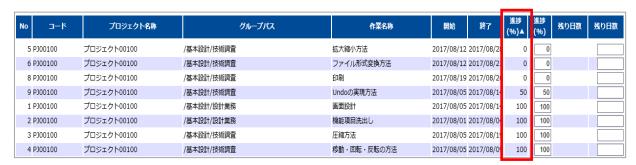


入力した工数が1日の上限時間を超過した場合「入力された工数の合計が1日の上限を超えています」というメッセージが表示されます。



- ※ 1日の工数上限チェックが不要の場合は「1日の工数上限チェック(時間)」に「0」を設定します。
- (2)「進捗・工数入力」画面の並べ替え

「工数」タブの「進捗・工数入力」画面にて、各列の並べ替え(昇順/降順)ができるようになりました。

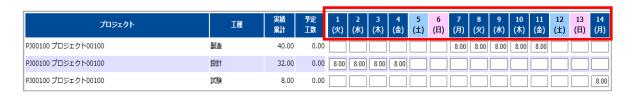


進捗(%)で並べ替えることにより、進捗入力の利便性が向上しました。 また、「進捗入力」画面(「進捗」タブ)と見出し文言を統一しました。

- ※ デフォルトの並び順は、以下の通りです。
 - ・ プロジェクトコード(昇順)
 - 作業別ビューの行の並び順(昇順)
 - バーの開始日(昇順)
 - バーの終了日(昇順)
 - バーの名称(昇順)

(3)「工数入力」画面の日付の背景色

「工数入力」画面の日付の背景色を変更し、土曜日を青、日曜日をピンクで表示されるようになりました。 これにより、週の区切りが見やすくなり、進捗入力の利便性が向上しました。



2.5 レポート

(1) 月別工数マトリクスレポートの日付範囲指定

工数マトリクスレポートと同様に、月別工数マトリクスレポートでも日付範囲の相対指定ができるようになり、レポート作成の利便性が向上しました。



(2) エクセルファイルの出力形式変更

以下で出力されるエクセルファイルの出力形式を XLS 形式から XLSX 形式に変更しました。

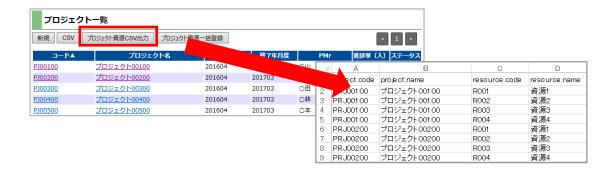
- 各種レポート(「レポート」タブ)
- 計画レポート(「計画」タブ、「マルチ」タブ)
- ・ コストレポート(「コスト」タブ)

2.6 プロジェクト資源

(1) プロジェクト資源 CSV の出力

「プロジェクト」タブの「プロジェクト一覧」画面から、複数プロジェクトのプロジェクト資源を CSV 形式で出力することができるようになりました。

表示セットにより、CSV 出力対象のプロジェクトを絞り込むことができます。



(2) プロジェクト資源の一括登録

「プロジェクト」タブの「プロジェクト一覧」画面から、複数プロジェクトのプロジェクト資源を一括登録できるようになりました。



登録時には、登録モードで「追加」または「上書」を選択することができます。

「資源コードブランクの行を無視する」にチェックを付けた場合、登録データに資源コードブランクの行が存在しても 無視されます。



※ プロジェクト資源の一括登録を行うユーザーには、新たに追加されたプロジェクト資源一括登録権限を付与する必要があります。

2.7 Pアイテム

(1) P アイテムの一括登録

「Pアイテム」タブの「プロジェクト一覧」画面から、複数プロジェクトのプロジェクトアイテムを一括登録できるようになりました。



プロジェクトアイテムの一括登録を行うユーザーには、新たに追加されたプロジェクトアイテム一括登録権限を付与

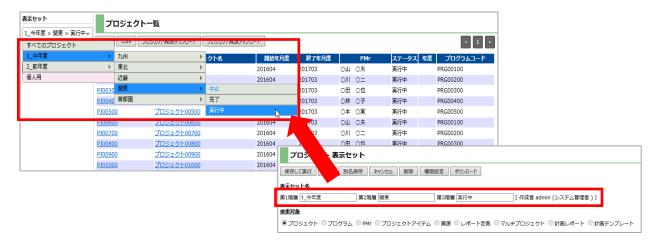
する必要があります。

2.8 表示セット

(1) プロジェクト表示セットの階層表示

プロジェクト表示セットが階層表示(最大3階層まで)できるようになりました。

表示セットの数が非常に多く、選択しづらい場合や、表示セットの内容により、分類して表示したい場合に便利な機能です。



(2) 資源表示セットの項目追加

プロジェクト表示セットと同様に、資源表示セットも「コード」、「名称」を入力して絞込検索ができるようになりました。



2.9 その他の改善

(1) パフォーマンス改善

以下の機能にて、パフォーマンスを改善しました。

- CSV 登録
- 工数マトリクスレポート

(2) 既存プログラムからのコピー

「プロジェクト新規」画面から、プログラムを新規作成する場合に「プログラム新規作成」画面で「既存プログラムからコピー」ボタンが表示されるようになり、利便性が向上しました。

(3) プログラム集計のボタン名変更

「プログラム詳細」画面の「プログラム集計」ボタンの名称を、「プロジェクト詳細」画面に合わせて、「集計」に変更しました。

2.10 不具合改修

以下の不具合を改修しました。

- ・ 「ロック済みプロジェクトアイテム編集権限」が付与されているにも関わらず、ロック済みプロジェクトアイテム を削除することができない
- ・ 計画レポートの定義をダウンロードして、そのままアップロードするとレポートが正しく動作しなくなる場合が ある
- ・ ロック済みプロジェクトでも「プロジェクト資源編集」ボタンが有効になっている
- ・「採算入力」画面で登録ボタンをダブルクリックするとレコードが2件登録される

以上